



# 第12期 報告書

平成26年4月1日 ▶ 平成27年3月31日

サクサ ホールディングス株式会社

証券コード 6675

株 主 各 位

平成27年6月26日

東京都港区白金一丁目17番3号NBFプラチナタワー  
**サクサ ホールディングス株式会社**  
代表取締役社長 越川 雅生

## 第12回定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本日開催の当社第12回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告および決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

### 記

- 報 告 事 項
1. 第12期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
  2. 第12期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)計算書類報告の件
- 本件は、上記の内容を報告いたしました。

### 決 議 事 項

- 第1号議案 剰余金の配当の件
- 本件は、原案どおり承認可決されました。  
(期末配当は、1株につき3円と決定いたしました。)

- 第2号議案 定款一部変更の件
- 本件は、原案どおり承認可決されました。
- 第3号議案 取締役3名選任の件
- 本件は、原案どおり鈴木 讓<sup>すずき ゆずる</sup>氏が再任されたほか、新たに布施雅嗣<sup>ふせ まさし</sup>および小口喜美夫<sup>おぐち きみお</sup>の両氏が選任され、それぞれ就任いたしました。  
なお、布施雅嗣<sup>ふせ まさし</sup>および小口喜美夫<sup>おぐち きみお</sup>の両氏は、社外取締役であります。
- 第4号議案 補欠監査役2名選任の件
- 本件は、原案どおり清水建成<sup>しみず たけなり</sup>および飯森賢二<sup>いもり けんじ</sup>の両氏が選任されました。

以 上



代表取締役社長 越川 雅生

株主の皆様には、平素より「サクサグループ」に対しまして、格別のご高配、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当事業年度のわが国の経済は、政府の経済政策や金融緩和を背景に景気は回復基調で進んだものの、消費税増税の反動や為替変動による輸入コストの増加などにより、企業の業況感は全体として慎重なものとなりました。さらに世界経済全体においても、資源国の経済動向や欧州における債務問題などの不安定要素があり、景気の先行きは不透明な中で推移いたしました。

このような経済環境の中で、当企業グループは、「事業の拡大」と「経営基盤の強化」に継続して取り組むとともに、経営改善施策を推進し、事業環境および事業構造の変化に対応した収益構造の確立に向けて取り組んでまいりました。

「事業の拡大」につきましては、当企業グループの目指す成長戦略に沿って、コアコンピタンスである音声と情報通信を融合させたネットワーク関連システムの展開と、これら商材とアプリケーションサービスを組み合わせたシステムインテグレーション事業の展開により、お客様が求めているシステムおよびサービスの展開を目指してまいりました。

ネットワーク関連システムの展開として、お客様の安心、安全、快適で便利な中小規模オフィス環境を実現する「Office AGENT」シリーズをラインアップし

・音声コミュニケーションやユニファイドコミュニケーションで様々なビジネススタイルにお応えするキーテレホンシステム「PLATIA」の拡充を図ってまいりました。

- ・ UTM(統合脅威管理アプライアンス)をフルモデルチェンジし、次世代のネットワークセキュリティ対策に必要な機能を集約した「SS3000」を発売いたしました。また、IP-PBXとUTMを一体化し、IPネットワーク環境の効率化を実現する「SP1000」を発売いたしました。
- ・ ネットワークシステムの大規模化や高速化など、通信環境の進展により課題となる、企業のネットワーク構築や設定の簡素化およびネットワーク管理にかかるコストの軽減を実現したクラウド管理型VPN(仮想私設網)ルータ「ZC1000」を発売いたしました。
- ・ これらの機器とファイルサーバ「SB2000」を活用して提供するネットワークカルテサービスを本格展開してまいりました。システムインテグレーション事業の展開として、コールセンターシステムやIPゲートウェイを中心としたVoIP(Voice over IP)ソリューションの販売等に加え、消費電力や温度、湿度および照度の「環境見える化ソリューション」の納入を開始いたしました。

また、クラウド、IoT(Internet of Things)等によるサービスの高度化や新たなネットワーク社会の実現に向けデータベースを連携したソリューションの確立が必要不可欠であり、これを具現化すべくデータ連携ソリューションをコアコンピタンスとする100%子会社「サクサシステムアメージング株式会社」を平成27年4月1日に設立いたしました。

「経営基盤の強化」につきましては、安定した収益体質を構築するための組織および要員の適正化や外部流出費用の徹底した削減に取り組む、損益につきましては黒字化を達成いたしました。

さらに、継続的な事業成長と収益の拡大を目指し、グループガバナンスの強化とスピードある事業推進体制を構築するための機構改革およびグループ内の経営資源の集中とさらなる経営の効率化を図るための連結子会社再編を平成27年4月1日に、それぞれ実施いたしました。

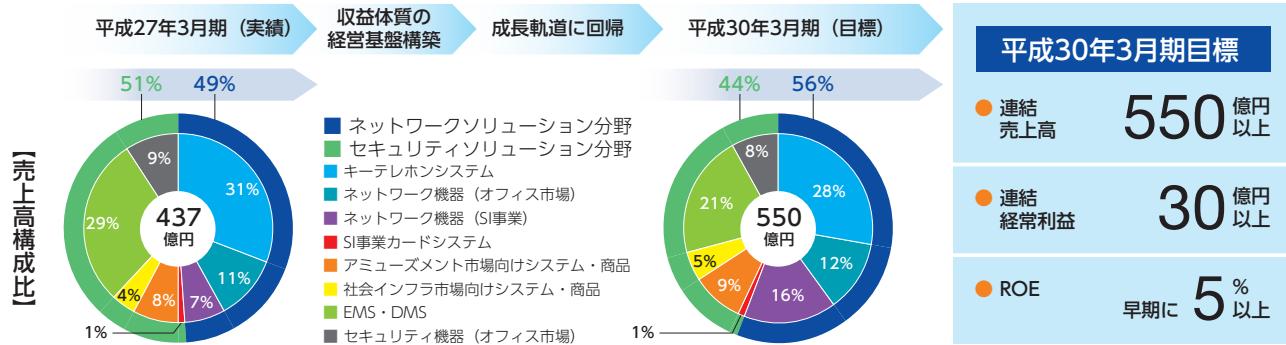
売上高は、アミューズメント市場向け商品の減少はありましたが、キーテレホンシステムや加工受託の増加により436億7千7百万円(前期比1.3%増)となりました。利益面では、為替変動の影響はありましたが、売上高の増加や総原価低減の取り組み効果等により経常利益は8億6千2百万円(前期経常損失5億9千1百万円)となりました。また、法定実効税率の変更による繰延税金資産の取り崩しにより、当期純利益は2億8千7百万円(前期純損失4億5千9百万円)となりました。

今後とも株主の皆様のご期待にお応えするため、なお一層の努力を重ねてまいりる所存でございますので、引き続きご支援、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

当企業グループは、平成27年度から平成29年度までの3か年を計画期間とする中期経営計画を策定いたしました。

**基本方針** 「持続成長可能な事業への転換」  
「あるべき姿に向けた収益構造への変革」

目標とする経営指標



事業の拡大

当企業グループは、「持続成長可能な事業への転換」のために事業の集中と効率化を確実に実行し、収益拡大を推進してまいります。

特に、IPネットワーク技術（IP情報、通信、情報セキュリティ、IoT等）を各事業の共通コアコンピタンスと位置付けたうえで、これらを活用したソリューションおよびサービスを展開してまいります。

また、センシング技術や映像蓄積技術を活用したソリューションも合わせて展開してまいります。

さらに、業界を超えた協業等で、事業の拡大を推進してまいります。

1. 集中事業

① オフィス市場向けの製品、サービス提供

通信インフラの高度化と急激な市場環境変化に追従するた

め、従来のキーテレホン製品展開からIP・ネットワーク製品およびこれらを活用したサービスへ事業をシフトするとともに、ストックビジネスを確立させることで、事業領域の拡大と事業転換を推進し、当事業の成長基盤を構築してまいります。

② アミューズメント市場向けの製品、サービス提供

お客様戦略に基づいた製品のタイムリーな提供に加え、機器売りからサービス売りへ営業スタイルを変革することで事業付加価値を高め、安定した収益を確保し、当事業基盤を強化いたします。

③ システムインテグレーション事業

VoIP (Voice over IP) ソリューションおよびデータ連携ソリューションの取り組みならびにパートナー企業との協業でシステムインテグレーション事業の拡大を加速してまいります。

なお、その一環として、平成27年4月1日付で当企業グループ内にサクサシステムアメージング株式会社を設立いたしました。

2. 効率化事業

収益が確保できる事業運営を推進することを目的に、各事業が属する市場の将来性と収益性を見極めたうえで、事業構造に見合った経営資源の最適化を図ってまいります。

3. グローバル展開

当企業グループが保有する商材・技術を有効活用することで、欧州、米州へは、法制化の動きに伴い需要が高まる光火災警報装置を投入、また、カンボジアを始めとしたアジア諸国へは、セキュリティ製品を中心に国内外企業との協業を進め、それぞれ事業拡大を目指してまいります。

4. EMSおよびDMSの拡大

当企業グループが保有する生産機能を有効かつ最大限に活用し、生産機能を有しない企業への機能サポートと加工受託領域の拡大を図ってまいります。

経営基盤の強化

当企業グループは、「あるべき姿に向けた収益構造への変革」のために経営基盤の強化に取り組んでまいります。

1. グループ機能の最適化

① グループガバナンスの強化とスピードある事業推進体制の確立

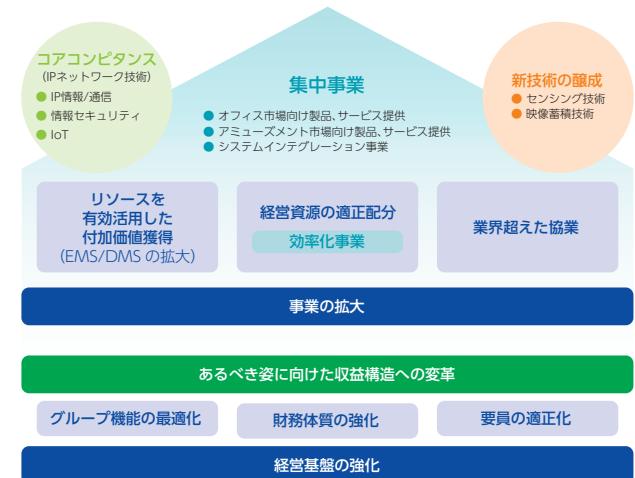
平成27年4月1日付で、当企業グループのグループ経営および事業戦略機能（グループガバナンス機能）をサクサホールディングス株式会社に集中するとともに、事業推進責任を明確にしたグループ体制に再構築し、グループガバナンスの強化とスピードある事業推進を確立してまいります。

② グループ内生産戦略機能の強化

平成27年4月1日付で、当企業グループのグループ内生産戦略機能をマザー工場であるサクサテクノ株式会社に集中させ、為替変動等に対応した国内外生産マップの見直しなど、生産体制の最適化を進めるとともに資材調達機能を強化することで外部流出費用の削減を進め、収益力を強化してまいります。

さらに、サプライチェーンマネジメントを強化し、開発一調

持続成長可能な事業への転換



達一生産一販売一保守までの各プロセスにおける一貫したトータルコストダウンを継続して推進してまいります。

③ 販売、保守サービス業務の一元化に伴う業務の効率化

平成27年8月1日付で、サクサブランドのセキュリティ製品の国内販売窓口業務を同製品の工事および保守サービスを担っているサクサビジネスシステム株式会社に移管し、販売および保守サービス業務を一元化して、より柔軟で機動的にお客様のご要請にお応えしてまいります。

2. 財務体質の強化

企業価値向上のため、資本効率を高めるとともに、開発および投資の効率向上ならびにサプライチェーンマネジメントを強化し、棚卸資産の圧縮や保有資産などの見直しを推進することで、資産効率の向上を図ってまいります。

また、グループ内の資金活用による有利子負債の圧縮など資金効率を高めてまいります。

3. 要員の適正化

事業構造の変化に対応する人材の質的転換と適正な要員体制とするため、人材の育成強化を図るとともに、人事諸制度を活用して、要員の適正化を進めてまいります。

SP1000

UTM一体型IP-PBX「SP1000」を新発売!

サクサ株式会社は、「Office AGENT」シリーズの一つとして、UTM (統合脅威管理アプライアンス) 一体型IP-PBX「SP1000」を平成27年1月から販売開始いたしました。ネット犯罪は日々複雑さを増しています。安全にインターネットを利用するためには、「ウイルスを遮断する・不正侵入を検知、遮断する・スパムメールを排除する・不要なインターネットアクセスを制限する・不正なアプリケーションの通信を遮断する」などの対策が必要になります。これらにまとめて対応できるのが「SP1000」です。



Office AGENT

サクサの「Office AGENT」シリーズは、サクサが情報システム部門のない中小規模オフィス向けにご提供する、オフィス運営代理人システムです。サクサのオフィスソリューション提供ノウハウを集結し、ネットワーク商材を連携させることで、お客様の「お困りごと」をスピーディに解決いたします。

PLATIA

キーテレホンシステム  
平成26年10月および平成27年2月機能拡充



SS3000

UTM (統合脅威管理アプライアンス)  
平成26年11月販売開始

「SS3000」は、ウイルス感染だけでなく、スパイウェア、不正侵入およびフィッシング、さらに、企業のネットワークを脅かすサイバー攻撃等のネットワーク上の脅威に対してそのリスクを低減させ、中小規模オフィスのネットワークにかかる運用コストや管理の大幅な軽減を実現しております。

ZC1000

ギガビットアクセス対応のクラウド管理型VPNルータ  
平成26年8月販売開始

「ZC1000」は、インターネットVPNの構築やネットワーク管理にかかる手間やコストの大幅な軽減を実現しております。

ネットワークカルテサービス

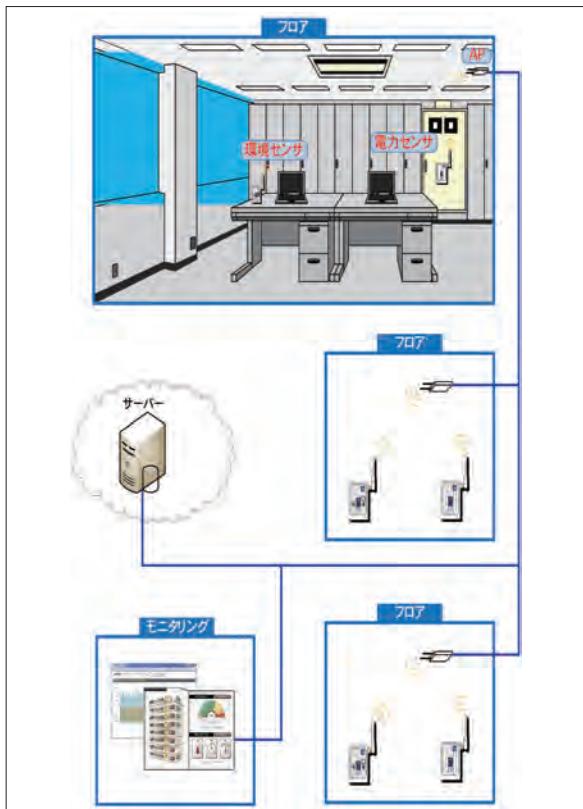
「Office AGENT」シリーズの機器を活用して提供するPC等の稼動、資産情報の可視化サービス  
平成27年4月本格展開

SB2000

ファイルサーバ  
平成25年11月販売開始

## 前田建設工業株式会社飯田橋MKビルに 電力・環境の「見える化」システムを納入

サクサ株式会社および株式会社マイスターは、前田建設工業株式会社の平成26年12月竣工、平成27年1月に業務開始いたしました「飯田橋MKビル」に対し、消費電力だけでなく温度・湿度・照度のオフィス環境を分かりやすく見せることで効果的かつ効率的な節電および快適なオフィス環境の実現を支援する電力・環境の「見える化」システムを納入いたしました。



## サクサ株式会社による 100%子会社の設立

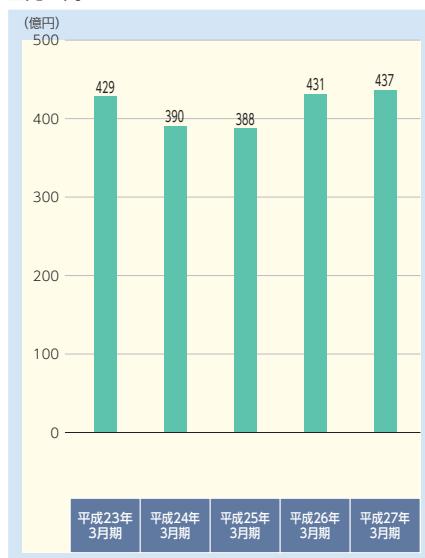
当企業グループを取り巻く事業環境では、クラウド、IoT、M2M (Machine to Machine) 等によるサービスの高度化や産業界のボーダレス化により、新たなネットワーク社会の実現が期待されています。

このような中で、当企業グループのシステムインテグレーション事業は、コアコンピタンスである音声と情報通信を融合させた情報通信ネットワーク関連技術を核に展開していますが、さらなる事業の拡大を図るには、音声に加え、データベースを連携したソリューションの確立が必要不可欠です。

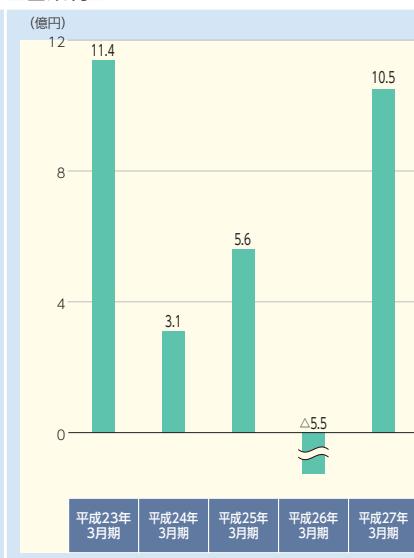
これを具現化するべく、市場のニーズ（価値創造）に敏感に対応し、より柔軟で機動的に顧客の要請に応えるために、グループ内外のリソースを結集させ、データ連携ソリューションをコアコンピタンスとするサクサ株式会社の100%子会社「サクサシステムアメージング株式会社」を平成27年4月1日に設立いたしました。

# 連結業績ハイライト

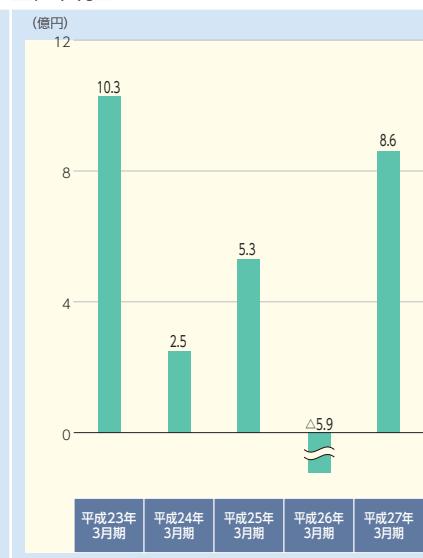
## 売上高



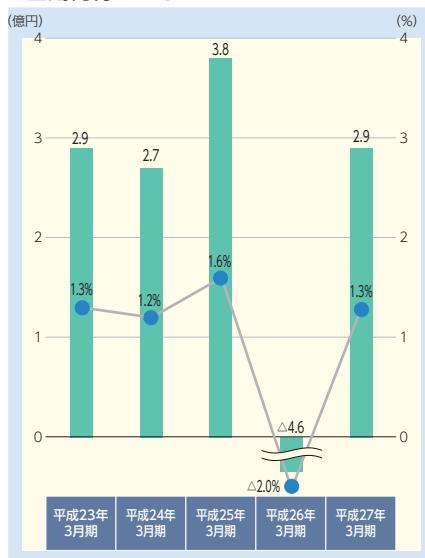
## 営業利益



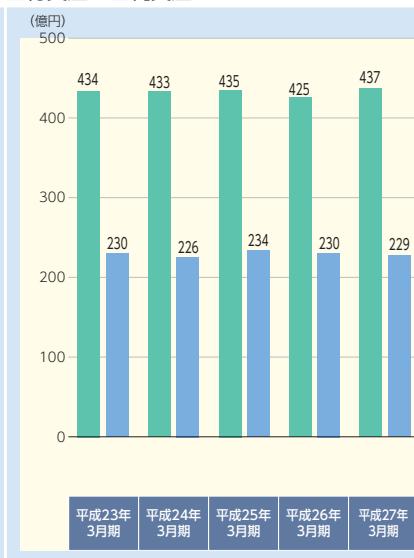
## 経常利益



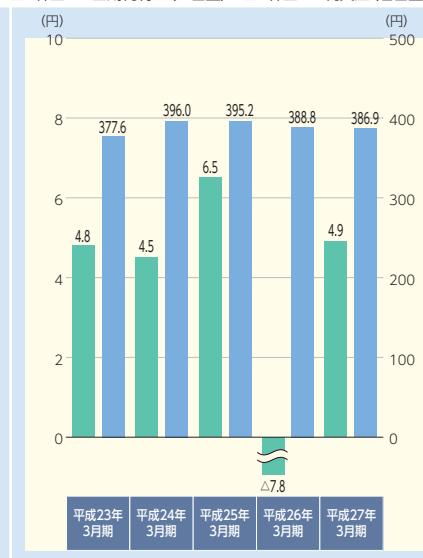
## 当期純利益 ● ROE



## 総資産 ■ 純資産



## 1株当たり当期純利益 (左目盛) ■ 1株当たり純資産 (右目盛)



※ グラフの数値については、表示単位未満を四捨五入しております。

# 連結財務諸表(要約)

## ●連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (平成26年3月期)	当期末 (平成27年3月期)
(資産の部)		
流動資産	23,352	23,738
固定資産	19,148	19,944
有形固定資産	10,563	9,998
無形固定資産	4,284	4,020
投資その他の資産	4,299	5,926
繰延資産	27	18
資産合計	42,529	43,701
(負債の部)		
流動負債	11,353	12,608
固定負債	8,161	8,212
負債合計	19,515	20,820
(純資産の部)		
株主資本	22,396	21,498
資本金	10,836	10,836
資本剰余金	6,023	6,023
利益剰余金	6,703	5,812
自己株式	△1,166	△1,173
その他の包括利益累計額	457	1,232
少数株主持分	160	149
純資産合計	23,014	22,880
負債純資産合計	42,529	43,701

## ●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期 (平成26年3月期)	当期 (平成27年3月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,911	2,922
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,047	△2,577
財務活動によるキャッシュ・フロー	142	△262
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△1
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	7	81
現金及び現金同等物の期首残高	6,181	6,188
現金及び現金同等物の期末残高	6,188	6,270

※連結財務諸表の各数値については、表示単位未満を切捨てて表示しております。

## ●連結損益計算書

(単位:百万円)

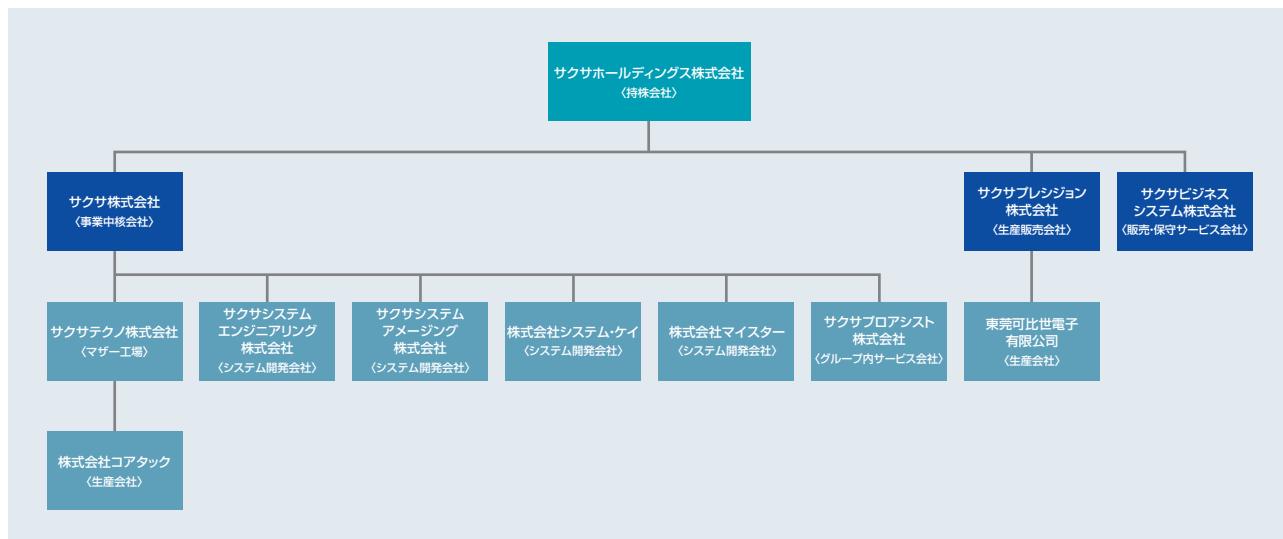
科目	前期 (平成26年3月期)	当期 (平成27年3月期)
売上高	43,103	43,677
売上原価	34,468	33,955
売上総利益	8,635	9,722
販売費及び一般管理費	9,181	8,677
営業利益又は営業損失(△)	△545	1,045
営業外収益	402	266
営業外費用	448	448
経常利益又は経常損失(△)	△591	862
特別利益	9	50
特別損失	323	83
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△906	829
法人税等	△457	545
少数株主損益調整前当期純利益又は 少数株主損益調整前当期純損失(△)	△448	283
少数株主利益又は 少数株主損失(△)	11	△3
当期純利益又は当期純損失(△)	△459	287

## ●連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	前期 (平成26年3月期)	当期 (平成27年3月期)
少数株主損益調整前当期純利益又は 少数株主損益調整前当期純損失(△)	△448	283
その他の包括利益	418	775
包括利益	△29	1,059

## ■ サクサグループ(12社) (平成27年4月1日現在)



## ● サクサ ホールディングス株式会社 (平成27年3月31日現在)

設立年月日 平成16年2月2日

資本金 10,836,678,400円

従業員数 1,274名(連結)、24名(単独)

本社 東京都港区白金一丁目17番3号 NBFプラチナタワー

事業内容 情報通信システムの機器および部品の開発、製造および販売を主として行う子会社の経営管理等

### 取締役および監査役 (平成27年6月26日現在)

代表取締役社長	越川 雅生	取締役	大坂 貢	常勤監査役	大内 正樹
代表取締役副社長	松尾 直樹	取締役	磯野 文久	監査役	羽鳥 勝彦
専務取締役	鈴木 讓(昇任)	取締役	池田 敬造	監査役	河野 敬
常務取締役	皆川 忠志	取締役	布施 雅嗣(新任)	監査役	猪鼻 正彦
取締役	木村 廣志	取締役	小口 喜美夫(新任)		

※1. 池田敬造、布施雅嗣および小口喜美夫の3氏は、社外取締役であります。また、小口喜美夫氏を株式会社東京証券取引所が定める独立役員として指定し、届け出ております。

※2. 河野敬および猪鼻正彦の両氏は、社外監査役であります。また、両氏を株式会社東京証券取引所が定める独立役員として指定し、届け出ております。

## 株式の状況

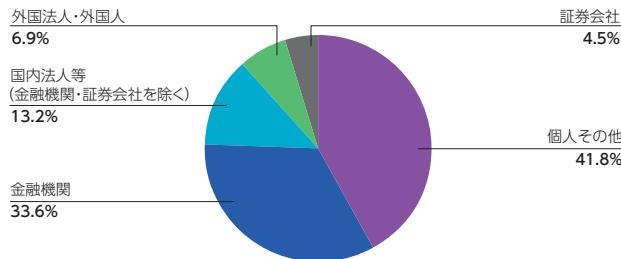
- 発行可能株式総数 ..... 240,000,000株
- 発行済株式の総数 ..... 62,449,621株
- 株主数 ..... 7,010名

## 大株主

株主名	持株数	持株比率
沖電気工業株式会社	8,060千株	13.7%
日本電気株式会社	2,360千株	4.0%
株式会社みずほ銀行	2,339千株	3.9%
株式会社三井住友銀行	1,767千株	3.0%
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,479千株	2.5%
サクサグループ従業員持株会	1,058千株	1.8%
株式会社三菱東京UFJ銀行	959千株	1.6%
みずほ信託銀行株式会社	900千株	1.5%
日本証券金融株式会社	885千株	1.5%
三井住友海上火災保険株式会社	773千株	1.3%

- ※1. 当社は、自己株式3,692千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
- ※2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。
- ※3. 沖電気工業株式会社の持株数には、沖電気工業株式会社が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式6,059千株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 沖電気工業 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)
- ※4. 株式会社みずほ銀行の持株数には、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式1,778千株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)

## 所有者別分布状況



※所有者別分布状況に記載の数値については、表示単位未満を四捨五入しております。

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
期末配当の基準日	3月31日	
定時株主総会	6月	
基準日	3月31日 その他、必要があるときは、あらかじめ公告して定める日とします。	
公告掲載URL	http://www.saxa.co.jp/ ※ 当社の公告の方法は、電子公告としております。ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	
郵便物送付先	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部	
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)	
未払配当金のお支払	お取引の証券会社等になります。 みずほ証券 本店・全国各支店 および営業所 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店	
注 意	みずほ信託銀行 みずほ銀行	本店および全国各支店 本店および全国各支店
	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。 特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。	